

第4回 那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会

第3回委員会の指摘事項と対応方針(案)

平成27年6月4日

内閣府沖縄総合事務局

国土交通省大阪航空局

第3回那覇空港滑走路増設事業環境監視委員会の指摘事項と対応方針

●資料3 事後調査及び環境監視調査の概要について

項目	委員意見	対応方針
海草藻場	(香村委員)資料 3_62 の分布面積 (事業区域) で5月、6月に葉が枯れていると報告があったが、その時の海水温や気温はどうであったか。干上がることにより、夏場は乾燥したときの気温、冬場は寒さが問題となる。季節変動があったかデータも示した方が良い。	葉枯れの考察のため、別添資料で潮位と風向風速を比較したデータを示したが、顕著な差は認められない。 なお、葉枯れについて、定点調査で被度の低下がみられたが、分布調査では被度の低下は確認されていない。 (別添資料)
サンゴ	(山里委員)一般に大きな台風が来襲した翌年には、オニヒトデが多く発生する傾向があると言われている。今後注意深くモニタリングしてほしい。	モニタリングの中で特に留意する。
全体	<p>(岡田委員)事後調査の結果で変動の範囲内といった記述があるが「最終的に影響がない」もしくは「影響はあるが、極端な減少は見られていないので対応をとる必要はない」など、もう少し表現等に工夫して記述してもらいたい。</p> <p>(鈴木委員：資料 3_66) モニタリングの見方として、普通の状態と違う変化が起きたものが工事の影響とはならない。つまり、変化イコール工事の影響ではない。それは1回だけでは分からない。また、変化が起こったとしてもそれが大きなインパクトになるかどうか。そういった見方をしてもらいたい。</p> <p>(土屋委員長：資料 3_66) 調査全般において、より詳細な解析を希望する。環境の変動とそれらの生物への影響を明らかにするためのもう少しデータ解析が必要である。環境のデータと生物のデータを比較検討する等の工夫をお願いしたい。</p>	<p>ご指摘の通り表現の工夫をする。</p> <p>生物の調査結果で、出現状況に変化がみられない場合、工事の影響がみられていないことを記述し、変化がみられる場合、どの生物種に変化があり、その原因について解析し、工事による影響の有無を考察する。(資料3参照)</p> <p>生物の出現状況について、生物群毎に地点別出現状況を整理し、解析を行っている。</p>

●資料4 海域生物の移植(サンゴ類)について

項目	委員意見	対応方針
調査の継続	(山里委員：資料 4_40) 有性生殖の件、ミドリイシ属を5月に着床具を設置し、7月には移動させているが、ミドリイシ属は7-9月まで産卵を繰り返すので、できれば長い時間置いておいてほしい。今回の短期間試験で結論づけるのは早いと考える。また、生態系のレジリエンス(回復・復元)を考えると、ここに流れ着く幼生の加入量把握は、今後の空港整備後にも重要な情報であるため、可能であれば継続していただきたい。	今年度の結果からは浅場への加入量が多い結果となっている。平成27年度は有性生殖移植について引き続き調査を継続し、年変動に着目して解析をしていきたいと考えている。(資料4-1参照)
	(鈴木委員：資料 4_40) 有性生殖実験は環境アセスメントでは補完的に検討する事項とされている。実験を続けることについては、この実験の位置づけや手法を考えることが重要である。	有性生殖移植については、今年度の試験結果を確認した上で、次年度以降について検討を行う。(資料4-1参照)
解析	小型サンゴ(ミドリイシ属)の移植先での調査結果では魚類が減少している。種数、個体数が減っており、文章は季節変化が見込まれるとあるが、資料3では冬に多く夏に少ない傾向はみられない。もう少しデータの解析が必要と思われる。(桑江委員：資料4_9)	魚類の蝸集状況について修正する。(資料4-1参照)

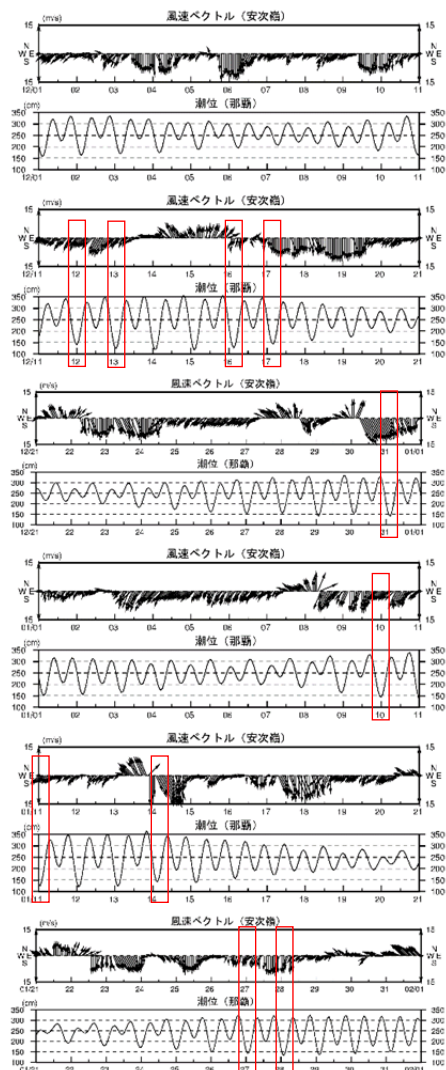
以下の資料については、委員会での質疑応答で対応したため、この資料では意見、対応方針を割愛した。

- 資料1 第3回委員会の指摘事項とその対応方針について
- 資料2 平成26~27年度工事内容について
- 資料5 海域生物の移植(クビレミドロ)について
- 資料6 陸域における緑化について

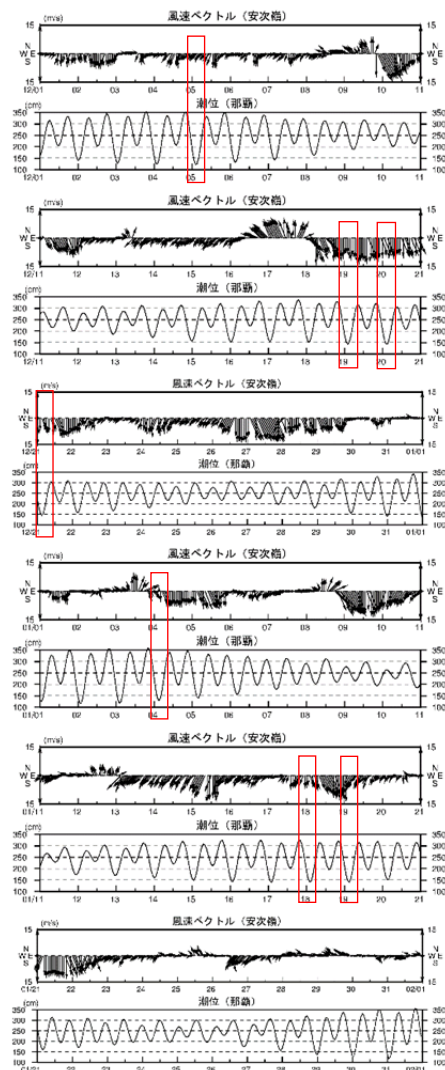
別添資料

葉枯れについては、大潮期の干出時における季節風の吹付と関係していると考えられることから、平成24年～26年の冬季の潮位と風向風速を比較したが、特に顕著な差はみられなかった。

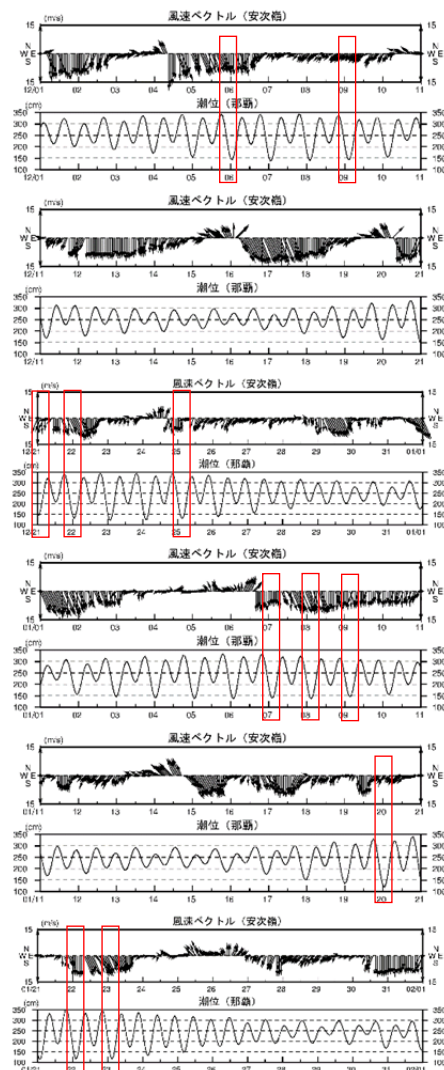
平成24年12月～平成25年1月



平成25年12月～平成26年1月



平成26年12月～平成27年1月



- 注) 1. 潮位は那覇観測基準面の値を、風向・風速は気象庁の気象統計情報を用いた。
2. 赤枠は、潮位が150cmを下回り、北寄りの風が5m/s以上で吹いた日を示す。